



苑内の光

『ウィーン』という音と共に、足羽利生苑の正面玄関が開きました。今日もたくさんの方の利用者の方やご家族、業者の方などが来苑されています。

その人たちを温かく迎えてくれるのが、正面玄関に裝飾されているディスプレイです。これは、足羽福祉会本部の女性職員・梯^{かひはし}さんが創作したものです。季節感漂うディスプレイは、訪れる人すべてを楽しませてくれます。どれも、梯さんの明



これをみると純粋な気持ちになり、笑顔で頑張ろうと奮起することができそうです。

このように、玄関だけでなく、苑内や居室のあちこちにも他の職員の手によっていろいろな光があふれ、苑内の雰囲気をも明るく照らしています。まだまだ紹介したいものはたくさんあります。来苑されたときは、ぜひ探してみてください。

るく朗らかな人間性が表現されており、そのような要素も手伝って素敵なものが作り出せるのだと思います。そして普段なかなか目につかないようなトイレにも、様々な工夫がみられます。

苑外の光

苑外でもたくさんの方の光を見つけることができます。それは施設の周りを彩るたくさんの方の花です。この花の苗は、今年六月に福井県で行われた全国植樹祭の植栽活動《花の植栽活動》の苗を抽選で提供するもの《に》応募し、頂いたものです。



慣れた手つきですね♪

その頂いたビオラの苗などを、利用者の方と一緒にプランターに植えました。正面玄関前や、道路沿いの垣根に置き、苑はたくさんの方の光に彩られました。日差しが強い日でしたが『うまいことできたわ』『きれいや

のお』と、笑顔で話しながら手入れされている利用者の方にとっても感心し、花から放つ光はより一層輝いて見えました。



普段何気なく見かける物や風景も、誰かの手が加わっていたり、温かい心配りがあるってこそ存在するものです。慌ただしい日常の中で疲れや不安を感じたとき、ふと周りを見渡してみてください。たくさんの方の明るい光が私たちを励ましてくれますよ♪